

第 29 期決算公告（令和 3 年 3 月期）

令和 3 年 7 月 19 日掲載

東京都港区六本木 7 丁目 15 番 7 号
クラウドバンク・インキュラボ株式会社
代表取締役 金田 創

1. 【貸借対照表】

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,925,852,719	流動負債	2,706,753,409
現金及び預金	40,871,358	その他預り金	521,190
立替金	17,260,000	未払金	1,267,320
前払金	1,100	関係会社未払金	4,214,000
前払費用	192,225	未払費用	3,319,566
未収入金	2,098,300	関係会社未払費用	17,152,115
関係会社未収入金	21,756,919	前受金	1,600,000
未収収益	471,869	短期借入金	2,161,678,300
関係会社未収収益	24,173,354	関係会社短期借入金	415,000,000
未収利息	871,914	未払法人税等	13,711,500
短期貸付金	35,000,000	外国為替取引差金	88,289,418
関係会社短期貸付金	2,045,692,000	固定負債	21,420,048
販売用不動産	573,992,685	繰延税金資産	21,420,048
短期差入保証金	163,470,995	負債の部合計	2,728,173,457
固定資産	139,701,416	純 資 産 の 部	
(有形固定資産)	126,441,516	科 目	金 額
機械及び装置	62,835,218	株主資本	337,380,678
建設仮勘定	64,514,640	資本金	100,000,000
減価償却累計額	(908,342)	資本準備金	1,164,750
(投資その他の資産)	13,259,900	利益剰余金	236,215,928
投資有価証券	1,231,005	その他利益剰余金	236,215,928
出資金	126,000	特別償却準備金	40,506,828
関係会社出資金	10,542,895	繰越利益剰余金	195,709,100
長期差入保証金	1,360,000	純資産の部合計	337,380,678
資産の部合計	3,065,554,135	負債・純資産の部合計	3,065,554,135

3. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 有価証券評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しています。

(2) その他有価証券

① 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しています。

② 時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しています。

2 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有する棚卸資産

販売用不動産…個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は次のとおりです。
機械及び装置17年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しています。なお、主な償却期間は次のとおりです。
自社利用のソフトウェア5年

(3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

4 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

5 外貨建金銭債権債務は期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

6 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。